



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2012年2月第4週号

第2347回



平成24年2月24日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- ◆ロータリーソング 『それでこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー
 ㈱ヴェルボォア 取締役 柴山 ゆきえ様
- 総合警備保障㈱千葉支社
 久保木 薫様、佐藤 陽永様 (ライラセミナー参加者)

■会長挨拶及び報告 出井 清会長

例年だと梅の開花時期ですが、今年は、6年振りの寒さだとか…、まだまだ寒さが続くようでこの調子だと桜の開花も遅くなりそうです。3月末に予定している花見例会の桜は無理かも知れませんが、その時は、“花より団子”で楽しみましょう。

先週のIM(インターシティミーティング)には、第3分区分A・B合同で13クラブ、200名以上の参加で、当クラブからは17名のご参加を頂きました。有難うございました。

IMの基調講演は、昨年度の新田次郎賞受賞作家、竹田真砂子氏の「好奇心は人生の栄養」と題して、ご自身のディズニーランドリゾートに対する好奇心等のお話がありました。今年度の地区大会の講演者の藤原正彦氏は、新田次郎氏のご子息であり、千葉に縁があるのかなということも話されていました。

18日(土)～19日(日)、上田会員のご協力により、総合警備保障㈱千葉支社の久保木さんと佐藤さんに「第35回ライラセミナー」へご参加いただきました。有難うございました。鈴木会長エレクト、杉本副幹事と私とで修了式に行ったのですが、この他スムーズにスケジュールが進行され、間に合わなかったのですが、残っていたライラ委員長さんや役員の方とお話して戻って参りました。

後ほどセミナー参加のご報告をしていただきますので宜しくお願い致します。

■地区より感謝状伝達

直前ガバナー補佐、水野 謙一会員



この度は、感謝状と記念品を頂戴し、有難うございます。この役目を務め終えることが出来ましたことは、皆様方の温かいご支援のお蔭と心より感謝申し上げます。有難うございました。

■第35回ライラセミナー参加報告

《佐藤 陽永さん》

今回参加させて頂いて、半分位の方が私より年下でした。会社では、私が一番下なのですが、そんな中で、年下の方たちと交流を持つことによって、今後、私が働いて行く上で後輩が出来た時、どのように接して行けば良いのか、どのようにアドバイスをしたら良いのだろうか、どのように意見を言えば良いのだろうか、自分の主張をどのように伝えたら良いのだろうかということを学ぶことが出来ました。ウォークラリーでは注意力とチームワークの大切さを学ぶことが出来ました。貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

《久保木 薫さん》

セミナーへ参加させて頂いたことで大切だなと思ったことは、注意深く物事を観察するということです。ウォークラリーで細図を渡されたのですが、様々な情報が隠されており、注意深く見て理解をしないとチェックポイントやゴールに辿りつくことが出来ません。物事は、真正面から見るだけではなく、色々な角度から見るのが大切だなと感じました。今後、日々の生活において色々な角度から物事を見られるようになると良いなと思います。有難うございました。



■委員会報告

◇出席委員会より(代・伊藤 和夫幹事)

2011-2012年度上期出席率報告 皆出席者17名

◇社会奉仕委員会より(北原俊彦委員長)

創立50周年記念事業・都川植樹場所確認するためにも26日(日)午前9時から植樹を行われますので都合の付く方は是非ご参加下さい。

■幹事報告 伊藤 和夫幹事

- ・3月30日(金)の例会は、千葉緑RCとの合同花見例会です。(ホキ見術館～昭和の森～チェルシーコートおゆみ野ガーデン)
- ・5月開催の国際大会(バンコク)へぜひともご参加下さい。
- ・千葉緑RC・青少年育成チャリティーゴルフコンペ開催のご案内
日時 平成24年5月14日(月) 8:00スタート
場所 真名カントリークラブ 会費 5,000円
奮ってご参加下さい。

■ニコニコボックス報告

◇出井 清会長・伊藤 和夫幹事

本日のゲストスピーカー・柴山ゆきえ様、卓話をよろしくお願ひ致します。

◇吉田 裕成会員

ライラセミナーへご参加の久保木さんと佐藤さん、お疲れ様でした。上田会員、ご協力有難うございました。

◇水野 謙一会員より、IM時において直前ガバナー補佐への感謝状と記念品を受賞され、記念品をクラブへご寄付いただきました。

本日のニコニコボックス	33,000 円	累計	557,976 円
金の箱	0 円	累計	19,156 円

■出席報告 (会員数37名)

出席者数27	欠席者数10	ピンター 3	修正出席率 86.49%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	3/19	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	3/27	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	3/28	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	3/7	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	3/8・29	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	3/8・29	京成ホテルミラマーレ

…本日の卓話…



演 題…『言葉の力』

卓話者… (株)ベルボォア

取締役 柴山 ゆきえ様

今日の演題は、「言葉の力」ということですが、最近テレビなどにも取り上げられ、話題になっております。ロータリーでも「真実かどうか」、「みんなに公平か」という言葉がありますように、人にはそれぞれ大事な言葉

があるかと思ひます。皆様はそれをお持ちになっているでしょうか。気持ちの中で、仕事をする上で、或は人生を考えた時にそういう言葉が、自分の一本の線になっているかどうかということも少しでも考えて頂けると良いかなと思ひます。それは、座右の銘でも良いし、或は自分の身内の方、ご両親、祖父母、ご兄弟、叔父さん、叔母さん、友人、又は他人の一言かも知れません。言われた言葉が自分の心に楔になって打ち込まれるという言葉を持って人生観が変わったというお話を幾つか例に上げてお話をしたいと思ひます。

NHKのプロフェッショナルという番組がございます。それは、こつこつと一生懸命に仕事をする人達を取り上げた番組なのですが、その番組に登場した三人の方をご紹介したいと思ひます。最初の方は、りんごの農家の木村さんという70歳代の方なのですが、無農薬でりんご作りをしている方です。何年経ってもりんごは実らなくて花さえ付かなかったそうです。近隣の農家からは農薬を使って欲しいと迫られた毎日でした。それは、自分のところで農薬を使わないと病気がそこから発生して隣の農場にも行ってしまふ。虫が移ってくるということから迫られ続けたそうですが、8年間かけて土作りをして、25年目に初めてりんごが実ったそうです。

今では都内のフレンチ好きのシェフに大人気で一般の人には手に入らない幻のりんごになっています。苦勞の末に現在があると仰っていました。思考錯誤しながらりんご作りをしていた時にお母様から貰った一つの言葉は、「おまえも雑草や石ころのように強く生きれば良い」でした。木村さんはこの言葉で25年間頑張り続けたそうです。

二人目は、難民支援を行なっている高橋さんという30歳代の若い女性です。大学を出てマスコミを希望していたそうですが、就職がなかなか決まりませんでした。1年、2年と過ぎて行き焦りだけが募っていったそうです。そんな時に一冊の本に出会いました。それは、勅使河原蒼風さんの書いた本だったそうです。その中の一節に「**求**めていなければ授からない。だから何時も**求**め続けていなければならない。」

4年後に国連機関に就職が決まって、現在はアフリカのウガンダで難民救済の仕事をしております。彼女は「**言葉は人を動かして人生を変えることが有る**」と仰っていました。

三人目は、アコーディオンニストの coba(コバ)さんです。最近、コマーシャルにも良く出ている金髪の男性です。ご存知でしょうか。彼は10歳でお父様にアコーディオンを買って貰ったそうです。しかし、友人達に古臭いと散々馬鹿にされました。アコーディオンの魅力を日本人に知らしめたいと思ひ、18歳で本場イタリアに渡りました。そして、コンソール・コンバートルという学校に入学しました。しかし、入った教室は小学生のクラスだったそうです。日本の技術では、まあまあかも知れませんが、イタリアではその程度の実力ということで、7~8才の子供と同じ教室に配属されたということです。それでも1日に10時間は必ず練習したということで、努力の結果、飛び級で卒業出来たそうです。何と、4年間です。そしてアコーディ

オンのコンクールで世界チャンピオンとなり帰国致しました。彼の指針は、「**思い続ければ必ず実現する**」でした。

又、コバさんは次のように言っています。「**言葉はロマンを生む**」。

昨年(2011年)の3月11日に大震災がございました。皆様方にお配りした私の次のライブなのですが、3.11震災の追悼ライブを、千葉で行なうことになりました。ジャズのイベント会場でジャズでもないだろう、柴山さん何か心に響く語りをやってくれないかということで、日曜日のその時間帯を空けさせられてしまいまして、何かやらなくてはならないということで、心をテーマに語ることになりました。大震災の日も津波が押し寄せた時のアナウンスはかなり放映されましたのでお分かりだと思います。多くの命が助かったという話はご存知かと思いますが、如何に緊迫感を伝えられるか。緊迫感のある声で「逃げて下さい！」という言葉によって、一人の死者も出さなかったという町がありました。それは、いつもとは違う言葉で、これはただ事ではない、早く逃げなければ、と自然に思った人達が助かったという話をしていました。その時の話ですが、見えない物の不安感ということで、ある病院のスタッフが話したことが、つい最近放送されました。福島原発事故です。近くの病院では爆発音だけが聞こえましたが、何が起こったのかは全く分からなかった。でも、やがて防具服を着た自衛隊の人達がやって来て非難するようにと言われ、大変なことが起きたのだということだけは分かりました。しかし、一切、説明がなかったのが不安感だけが募りました。「言葉での説明。早い情報がこの時は必要だったと思う。そうすれば入院患者への対処の方法が違って来たから」と病院関係者は言うておりました。今でもその事だけが悔やまれると言っていました。言葉での説明が如何に大事かというお話です。

人を動かす言葉は沢山あると思いますが、言い方ひとつで言葉はどんどん変わっていきます。人に呼ばれた時に「はい！何かご用でしょうか」を下から目線でおずおずと言いますと、自信がなさそうに聞こえて、この人に何か頼んでも大丈夫なのだろうか、自信のなさが受ける方にも伝わってしまいます。それが同じ返事でも元気良く伝わりますと、呼び掛けた方も気持ち良く何を頼んでも大丈夫そうだと感じるものだと思います。

説得力のある言葉というのが話題になりますが、説得力は言う側の気持ちが伝わらないと説得力は伝わりません。中でも語尾が大事になってきます。強すぎるときつい感じになります。語尾が消えると自信がなさそうに聞こえます。語尾を捨てるとその人の人格やだらしの無さが伝わっていきます。ですから、私達の仕事は語尾をととても大事に致します。語尾は丸めてここに置きなさいと司会者には指導するのですが、ここに置くと言うニュアンスが極めて貰えないのが現実です。

無駄話は得意だけどもきちんと話が出来ないのは大変問題です。適切な言葉遣いで適切に表現できる事は大切です。私達は先輩にこのように教えられて育ってきました。“言葉は人格”である。“人柄は言葉”である。“短い時間では人は誤魔化せるが長い時間では誤魔化せないのが人格である。特に長い時間になればなるほど自

分の心が大切なのです。一生懸命に話しなさい。一生懸命に話すことが人の心を動かすのです。言葉で言わなくても何を考えているのかが判るという人がいますが、それは会話をし尽くして、その人の人柄が良く判っているからのことで、それでも言葉は必要なのです。言葉なくしては、判らないことも沢山あると思います。

今やインターネットの時代です。会話をしない、本を読まない、文字を書かない、文字の意味も判らないという子供達が非常に増えています。

昨年の暮れ、ある会社の研修に行きました。提出したレポートに誤字脱字が多く相手に非常に失礼な言葉遣いで詫言状を出したこの会社はいったいどういう会社なのだろうかと思いました。会社を訪問した時の第一印象からあなた達の会社は非常に悪い、私はあなた達にとっては客である。全く知らない人が玄関から入ってくるのだから、「おはようございます」と私が何で言わなければいけないのですか。他人が入って来た私に対して誰一人「おはようございます」の挨拶もないこの会社はいったいどうなっているのかということから研修を始めました。先ず文字の意味が判らない。意味が判らないから使えない、誤字脱字が多いのは語彙が少ないから、話の内容が乏しいから原稿も打てない。話しをするということは、言葉を使うということは、人間としての基本作業です。

今から25年前の話ですが、友人から良い本があるからと薦められました。本屋にはまだ出ていないので直接申し込むようにということでしたので、自宅へ電話を掛けました。その本とは、相田みつを氏の「雨の日には雨の中を風の日には風の中を」というタイトルの本でした。10冊送ってもらった本には、相田氏の字で「心」という一文字がサインされていて、一冊だけ芝山ゆきえさんへとサインされていました。後日、相田みつを美術館の館長である息子さんにお会いする機会がありまして、このお話しをしたら、相田氏はサインが大嫌いだだったので、本にサインするなんて考えられない、それは大変珍しいことだと仰っていました。その後、出版された「人間だもの」の中にある「**今が大事**」という言葉ですが、私にとってとても大切な言葉です。

(文責 寺澤 一良会員)



第2348回例会

日時⇒ 平成24年3月2日(金) 点鐘12:30
演題⇒ 『エンターテインメントについて考える』
卓話者⇒ レインカラーズ 代表 松本 卓也様
(シンガーソングライター)

第2349回例会

日時⇒ 平成24年3月9日(金) 点鐘12:30
演題⇒ 『日本のしきたり』
卓話者⇒ 詩人 近藤 文子様